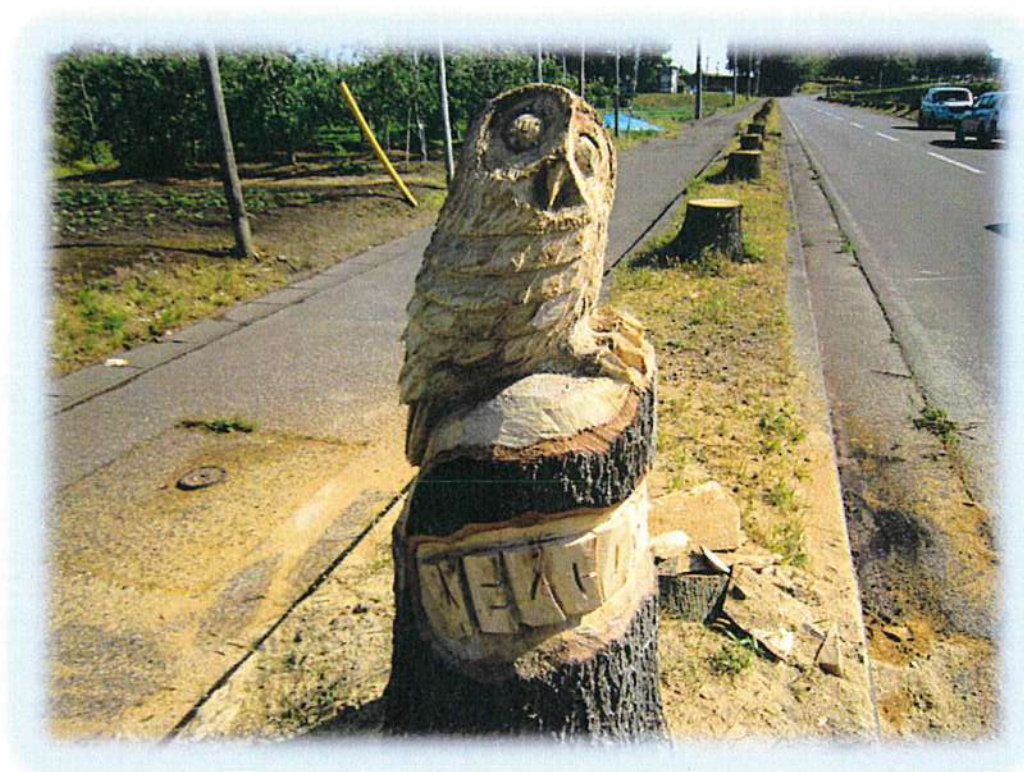


令和2年度

エコアクション21

環境経営レポート



チェンソーアート ”幸福をよぶフクロウ”

対象期間 : 令和2年3月～令和3年2月

発行年月日 : 令和3年 6月25日

 株式会社 **東北芝幸**

目 次

	ページ
1 環境経営方針	1
2 事業概要&認証登録範囲	2
3 実施体制	3
4 環境負荷の実績	4
5 環境経営目標	5
6 環境経営計画	6
7 環境経営目標の達成状況	7
8 環境経営計画の取組結果とその評価	8~10
9 次年度の取組内容	11
10 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	12
11 代表者による全体評価と見直し結果	13

1 環境経営方針

〈環境経営理念〉

株式会社東北芝幸は、胆沢扇状地の中心に位置し、水と緑と散居のまちで自然豊かな環境のもと昭和48年以来、建設業に係る事業に従事して参りました。

当社は、この先人より引き継がれた自然環境とともに共存し又次の世代に引き継いでいく為に土木・造園・法面工事を通じて地域の環境保全に寄与することが重要であることと認識しております。

このため、土木・造園・法面工事に係る事業活動に際し、環境負荷の低減及び環境保全活動に、自主的・積極的に取り組んでいくことを誓約致します。

〈環境保全への行動指針〉

- 1、建設工事においては、使用機材・環境負荷の低減及び環境に配慮した工事を施工します。
 - ① 二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
 - ② 建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
 - ③ 総排水量の削減に努めます。
 - ④ 化学物質の適正管理に努めます。
 - ⑤ 公共工事における環境負荷の低減に努めます。
 - ⑥ 再生資材の使用に努めます。
- 2、社内における省資源・省エネ・節水及びグリーン調達に努めます。
- 3、環境及び安全運転についての教育を実施し社員の資質向上に努めます。
- 4、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守することを誓約いたします。
- 5、地域活動、環境保全活動への参加、環境経営レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。
- 6、定期的に環境経営システムを見直し、継続的に改善していきます。

制定日：平成24年 7月 1日

改定日：令和2年11月10日

株式会社 東 北 芝 幸
代表取締役 大 槻 幸 豊

2 組織の概要

- 1 名称及び代表者名
株式会社 東北芝幸
代表取締役 大槻 幸豊
- 2 所在地
本社 岩手県奥州市水沢福吉町5番26号
胆沢営業所 岩手県奥州市胆沢南都田字鶴田236-2
- 3 環境管理責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 専務取締役 齊藤 仙雄 TEL: 0197-46-4456
担当者 総務部 佐々木広恵 TEL: 0197-24-5238
E-mail shibako1@hyper.ocn.ne.jp
- 4 事業活動の内容
土木工事業・造園工事業・とび土工工事業・舗装工事業
建設業許可番号: 岩手県知事許可(特-29) 第4277号
産業廃棄物収集運搬業(自社発生物のみ運搬) 許可番号 00303117815
一般廃棄物収集運搬業(自社発生物のみ運搬)

5 事業規模

資本金 2,000万円

年 度	平成30年度 (30.3.1~31.2.28)	令和元年度 (31.3.1~2.2.29)	令和2年度 (2.3.1~3.2.28)
工事等の件数(件)	192	179	172
売上高(百万円)	418	413	662
産業廃棄物収集運搬実績(t)	0	0	0
一般廃棄物収集運搬実績(t)	0	0	0
従業員(人)	26	26	27
事務所床面積(本社)	108.16㎡	108.16㎡	108.16㎡
事務所床面積(営業所)	324㎡	324㎡	324㎡

- 6 認証登録範囲
全サイト・全組織・全事業活動が認証登録範囲

7 事業経歴・営業範囲

事業経歴

昭和48年 5月 設立

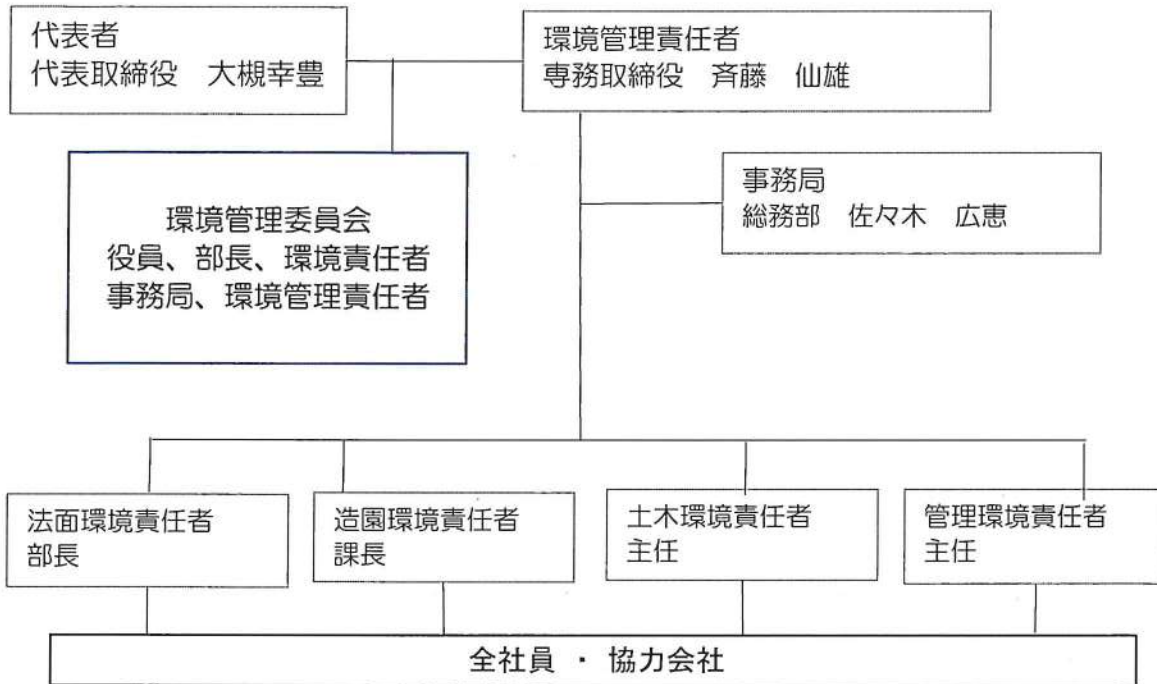
平成 9年 5月 胆沢営業所設置

営業範囲

岩手県内陸南部・沿岸南部

3 実施体制

(1) 組織図



(2) 環境経営システム 役割・責任・権限表

代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を定め従業員に周知する。 ・環境経営に関する統括 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・経営上の課題とチャンスの明確化。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長は社長とし、環境管理責任者が招集する。 ・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。 ・内部監査の代わりに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合がある場合は代表者、環境責任者へ是正を勧告する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境活動の取り組み結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。
各部門環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部門における環境活動の実施。 ・環境経営システムの改善・是正提案。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境経営活動レポートの作成、公開(事務所に備付と地域事務局への送付) ・取組データの集計、取り纏め及び文書記録の管理。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し、能力向上に努める。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。
協力会社	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクションへの取り組みの理解と協力

4 環境負荷の実績

主な環境負荷の実績は、下表の通りでした。

事務所(本社・胆沢営業所)

環境経営目標項目		単位	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①二酸化炭素排出量の削減	電気	kwh kg-co ₂	11,766 6,153	10,439 5,460	8,445 4,417	7,115 3,721
	ガソリン	ℓ kg-co ₂	8,532 19,808	8,954 20,788	7,843 18,208	6,205 14,406
	軽油	ℓ kg-co ₂	0 0	71 186	0 0	0 0
	灯油	ℓ kg-co ₂	1,826 4,550	1,652 4,116	2,013 5,016	1,818 4,530
	LPG	kg kg-co ₂	23 69	33 99	20.1 60.3	12.8 38.5
	CO2排出量(1)		kg-co ₂	30,580	30,649	27,701

建設現場等

①二酸化炭素排出量の削減	電気	kwh kg-co ₂	1,855 970	1,133 593	960 502	783 410
	ガソリン	ℓ kg-co ₂	10,698 24,837	10,159 23,586	13,216 30,683	15,567 36,141
	軽油	ℓ kg-co ₂	55,665 146,082	49,742 130,540	40,259 103,868	48,597 125,380
	灯油	ℓ kg-co ₂	869 2,165	306 762	156 389	18 45
	LPG	kg kg-co ₂	0 0	2 6	0 0	0 0
	CO2排出量(2)		kg-co ₂	174,054	155,486	135,442
CO2総排出量(1)+(2)		kg-co ₂	204,634	186,135	163,143	184,671
売上1000万円当りのCO2排出量		kg-co ₂	5,079	4,395	3,947	2,787

②廃棄物排出量の削減	一般廃棄物(コピー用紙)の削減	kg	(3.65) 147	(3.08) 129	(3.61) 149	(1.75) 116
	建設副産物のリサイクル率の向上	%	87.7	90.3	97.2	91.9
	資源の有価販売の促進	t	1.42	1.49	2.30	1.86
③総排水量の削減	水使用量の削減	m ³	101	96	87	80
④化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
⑤公共工事における環境負荷の低減	手直し工事の低減	件	3	4	2	4
	工期の短縮	日	1	2	2	0.3
	使用材料の削減	%	85	98	99	98
⑥グリーン購入の推進	グリーン購入(購入品目の追加)	品目	22	22	22	15
⑦環境配慮型製品の使用推進	再生資材の使用の推進	%	100	100	100	100

※電気のCO₂排出量は、平成29年度調整後排出係数の0.523(kg-CO₂/kwh)を用い過去に遡って換算し直しました。

※一般廃棄物についてはコピー用紙の使用量としました。()内は原単位(売上1000万円当り)

※再生資材の使用の推進において、評価対象とするものは公共元請工事である。

5 環境経営目標

当社では、当期・中期目標を下表の通り設定し、環境活動に取り組んでおります。

環境経営目標項目		削減率又は 増加率(%)	基準値	当期目標	中期目標		
		単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
①	電気	削減率(%) kgCO ₂	119	1	2	2	2
	ガソリン	削減率(%) kgCO ₂	1,182	1	2	2	2
	軽油	削減率(%) kgCO ₂	2,513	1	2	2	2
	灯油	削減率(%) kgCO ₂	131	1	2	2	2
	LPG	削減率(%) kgCO ₂	1.45	1	2	2	2
合計 (売上1000万円当り)		kgCO ₂	3,947	3,907	3,867	3,867	3,867
②	コピー用紙削減 (売上1000万円当り)	削減率(%) kg	3.61	1	2	2	2
	建設副産物のリサイクル率の向上	リサイクル率 %	97.2	90.0	90.0	90.0	90.0
	資源の有価販売の促進	増加率(%) t	2.30	1	2	2	2
③	水使用量	削減率(%) m ³	87	1	2	2	2
④	化学物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
⑤	手直し工事の低減	件	2	4.0	3	3	3
	工期の短縮	日	2	2	2	2	2
	使用材料の削減	%	99	90	90	90	90
⑥	購入品目の追加	品目	22	22	22	22	22
⑦	再生資材の使用の推進	%	100	100	100	100	100

※電気のCO₂排出量は、平成29年度調整後排出係数の0.523kg-CO₂/kwhを用いております。
 ※再生資材の使用の推進において、評価対象とするものは公共元請工事である。

6 環境経営計画

環境経営目標を達成するため具体的取組を次のように設定しました。

環境経営目標項目		取組み内容
①	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房設定温度の順守(冷房28℃、暖房20℃) ・部分照明の徹底、昼休みの消灯 ・OA機器未使用時の電源オフ ・終業時はタップ式コードスイッチをオフにする
	ガソリン・軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの実施 ・重機・車両の整備点検 ・効率計算の実施(燃費計算) ・車両及び重機の買い替え、リース時には低公害車等を考慮する。
	灯油・LPG使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯器、コンロの使用を控えめにする ・ドアの開け放しはしない ・服装の工夫で暖房の設定温度や使用を抑える ・事務所を空けるときは暖房を停止する
②	一般廃棄物(コピー用紙)の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・印刷ミスの抑制に努める ・電子媒体の利用によるペーパーレス化の推進
	建設副産物のリサイクル率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・マニフェストによる適正な処理 ・分別収集による再資源化
	資源の有価販売の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・現場発生有価物の販売促進
③	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い時、洗い物においては節水を励行する ・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行する。 ・漏水チェック(蛇口がきちんと閉まっているか確認)
④	化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・記録簿による記録、管理(1回/月毎の管理者への報告) ・MSDSによる情報収集 ・リスクアセスメントの実施
⑤	手直し工事の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・施工方法の見直し、提案 ・施工適期の顧客への提案
	工期の短縮	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な工程管理 ・適正な作業員の手配
	使用材料の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・材料ロス率の見直しにより、発注数量の低減を図る。(残余資材の低減)
⑥	購入品目の追加	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品はできる限りエコマーク商品とする。
⑦	再生資材の使用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・再生資材、環境配慮型製品の積極的な使用

7 環境目標の達成状況

令和2年度環境目標に対する達成状況

項目	単位	基準値 (令和1年度)	令和2年度			達成状況		
			目標値	実績値	削減(増加)率			
省エネルギー項目	電気	事務所	8,445	8,361	7,115	-16.1%	○	
		現場	960	950	783			
		全体	9,405	9,311	7,898			
		売上1000万円当り	kg-co ₂	119	118	62.3	-47.6%	○
	ガソリン	事務所	ℓ	7,843	7,764	6,205	+3.4%	△
		現場	13,216	13,084	15,567			
		全体	21,059	20,848	21,772			
		売上1000万円当り	kg-co ₂	1,182	1,170	762.5	-35.5%	○
	軽油	事務所	ℓ	0	0	0	+20.7%	×
		現場	40,259	39,856	48,597			
		全体	40,259	39,856	48,597			
		売上1000万円当り	kg-co ₂	2,513	2,488	1,891	-24.7%	○
灯油	事務所	ℓ	2,013	1,993	1818	-15.5%	○	
	現場	156	154	18				
	全体	2,169	2,147	1,836				
	売上1000万円当り	kg-co ₂	131	130	69	-47.4%	○	
LPG	事務所	kg	20.1	20.0	12.8	-36%	○	
	現場	0.0	0.0	0.0				
	全体	20.1	20.0	12.8				
	売上1000万円当り	kg-co ₂	1.45	1.43	0.58	-60%	○	
①二酸化炭素排出量	総量	kg-co ₂	163,143	161,512	184,671	+13.2%	×	
	売上1000万円当り	kg-co ₂	3,947	3,908	2,787	-29.4%	○	
②廃棄物排出量	コピー用紙使用量	kg	149(3.61)	148(3.57)	116(1.75)	-22%	○	
	建設副産物のリサイクル率の向上	%	97.20	90	91.9	+1.9%	○	
	資源の有価販売の促進	t	2.30	2.32	1.86	-20%	△	
③総排水量	水使用量	m ³	87	86	80	-8%	○	
④化学物質	化学物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理		○	
⑤公共工事における環境負荷の低減	手直し工事の低減	件	2	4	4		○	
	工期の短縮	日	2	2	0.3		△	
	使用材料の削減	%	99	90	98		○	
⑥グリーン購入の推進	購入品目の追加	品目	22	22	15		△	
⑦環境配慮型製品の使用推進	再生資材の使用の推進	%	100	100	100		○	

○ 達成 △ 許容範囲内達成 × 未達成

目標値に対し±5%の増減を許容範囲とし、許容範囲内を勘案の上達成状況を評価する。

※電気のCO₂排出量は、平成29年度調整後排出係数の0.523kg-CO₂/kwhを用いております。

※コピー用紙使用量の()内は原単位(売上1000万円当り)

8 環境経営計画の取組結果とその評価

環境経営目標項目	取組内容	評価	取組結果
①	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 冷房設定温度の順守 部分照明の徹底、昼休みの消灯 OA機器未使用時の電源オフ 終業時はタップ式コードスイッチをオフにする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設定温度を順守している。 ○ 徹底している。 ○ 定着している。 ○ 定着しつつある。
	ガソリン・軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの実施 重機・車両の整備点検 効率計算の実施(燃費計算) 車両及び重機の買い替え、リース時には低公害車等を考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 時々アイドリングが見られた。 ○ 定期的に点検を実施している。 ○ 記録を行い燃費の把握に努めている。 ○ 低公害車を選定している。
	灯油・LPG使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 給湯器、コンロの使用を控えめにする ドアの開け放しはしない 服装の工夫で暖房の設定温度や使用を抑える 事務所を空けるときは暖房を停止する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最低限の使用にしている。 ○ 徹底している。 ○ できる範囲で各自取り組んでいる。 ○ 定着している。
②	コピー用紙の削減	<ul style="list-style-type: none"> 分別の徹底 印刷ミスの抑制に努める 電子媒体の利用によるペーパーレス化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定着している。 △ 更なる意識が必要。 ○ 定着しつつある
	建設副産物のリサイクル率の向上	<ul style="list-style-type: none"> マニフェストによる適正な処理 分別収集による再資源化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適正に処分されている。 ○ リサイクルできるものは処理業者へ委託している。
	資源の有価販売の促進	<ul style="list-style-type: none"> 現場発生有価物の販売促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定着している。
③	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い時、洗い物においては節水を励行する 社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行する。 漏水チェック(蛇口がきちんと閉まっているか確認) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節水を心掛けている。 ○ 節水を心掛けている。 ○ 確認している。
④	化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> 記録簿による管理(1回/月毎の管理者への報告) MSDSによる情報収集 リスクアセスメントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記録の管理を行っている。 ○ 情報収集に努めている。 ○ 新規の採用はありませんでした。
⑤	手直し工事の低減	<ul style="list-style-type: none"> 施工方法の見直し 施工適期の顧客への提案 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設計物件については積極的な提案ができた。 ○ 可能な限り適期での施工ができた。
	工期の短縮	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な工程管理 適正な作業員の手配 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会議により調整している。 △ 繁忙期を除き適正に手配ができた。
	使用材料の削減	<ul style="list-style-type: none"> 材料ロス率の見直しにより、発注数量の低減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 残余資材の低減に努めた。
⑥	購入品目の追加	<ul style="list-style-type: none"> 事務用品はできる限りエコマーク商品とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 可能な限り選定している。
⑦	再生資材の使用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 再生資材、環境配慮型製品の積極的な使用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的に取り入れている。

○ 評価できる △ まずまず評価できる × 評価できない

① 二酸化炭素排出量の削減

全体の二酸化炭素排出量としては、受注増加により総排出量も増加しましたが、売上原単位では目標を大きく上回り、29.4%の削減となりました。

電力使用量においては11月に自動販売機が撤去されたため、12月以降は月200kwh程度の削減となり、実績値も16%の削減となりました。

ガソリン・軽油については受注増加により全体の使用量も増加しましたが、原単位目標達成となりました。

灯油については、仮設事務所の設置がなかったため、本社・営業所の2拠点での使用により実績値、売上原単位共に削減となりました。

ガスの使用については事務所のみの使用とし、極力無駄な使用を避け、反射式ストーブを活用するなどした結果、検針時期の違いもありますが、実績値でも-36%と予想を上回る結果となりました。

ガスについては使用量が少なく、CO2の排出も少ないことから、次年度からは取り組みは続けますが、目標から外します。

② 廃棄物排出量の削減

コピー用紙の削減は、元請受注がなかったため、22%の削減となりました。コピー用紙も受注に左右されることから、次年度より目標項目をリサイクル率の向上とします。

建設副産物のリサイクル率向上については目標達成となりました。次年度より目標項目を分別徹底とし取り組みます。

資源の有価販売促進については排出が少なく、目標値には届きませんでした。

取り組みが定着していることから次年度より目標から外します。

③ 総排水量の削減

水使用量は-8%の削減となり、取り組みを始めて以来最小となりました。

④ 化学物質の適正管理

農薬の受払表による記録や安全データシートによる情報収集など、適正管理に努めています。

⑤ 公共工事における環境負荷の低減

手直し工事については4件ありましたが、当社の責任における補修工事はありませんでした。工期の短縮については、元請工事が少なく目標達成は出来ませんでした。また材料の削減については残余資材の低減に努めました。

次年度より目標項目を見直し、新たな目標で活動していきます。

⑥ グリーン購入の推進

元請受注がなく、提出物も少なかったため購入品も少なく、目標達成にはなりませんでしたが達成状況については経費削減に付き〇とします。

次年度からは義務ではないため目標から外しますが、購入する際はなるべく環境対応製品を選定するよう取り組みは継続します。

⑦ 環境配慮型製品の使用推進

公共工事では設計を遵守し、可能な範囲で環境配慮型製品や再生資材を使用した施工を推進しています。

次年度からは⑤の公共工事における環境負荷の低減の項目とします。

活動の記録

地域貢献活動

4月	北上川一斉清掃活動	岩手県建設業協会奥州支部
10月	カヌー競技大会 環境整備	奥州市建設業協会胆沢支部
10月	水沢フラワーロード花壇片付け作業	奥州市造園工事業会

今年度はコロナウィルス感染拡大防止により、地域貢献活動も思うように実施できませんでした。

緊急時訓練の様子



地域貢献活動



環境整備



9 次年度取組内容

次年度の主な取組内容は下記の通りです。

環境経営目標項目		取組み内容
①	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房設定温度の順守(冷房28℃、暖房20℃) ・部分照明の徹底、昼休みの消灯 ・OA機器未使用時の電源オフ ・終業時はタップ式コードスイッチをオフにする
	ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの実施 ・効率計算の実施(燃費計算)
	軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・重機・車両の整備点検 ・アイドリングストップを実践する ・車両及び重機の買い替え、リース時には低公害車等を考慮する
	灯油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアの開け放しはしない ・服装の工夫で暖房の設定温度や使用を抑える ・事務所を空けるときは暖房を停止する
②	コピー用紙のリサイクル率向上	<ul style="list-style-type: none"> ・裏紙利用の推進 ・印刷ミスの抑制に努める ・電子媒体の利用によるペーパーレス化の推進
	建設副産物の分別徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・マニフェストによる適正な処理 ・分別収集による再資源化
③	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い時、洗い物においては節水を励行する ・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行する ・漏水チェック(蛇口がきちんと閉まっているか確認)
④	化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・記録簿による記録、管理(1回/月毎の管理者への報告) ・MSDSによる情報収集 ・二重鍵による施錠
⑤	公共工事における環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・再生資材・環境配慮型製品の使用の推進 ・低騒音、低振動、排出ガス対策型機械を使用する ・資格取得による技能向上に努める
⑥	社員教育	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進目標により健康づくりに取り組む

10 環境関連法規の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

1) 当社に適用となる主な環境関連法規とその遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令等の名称		遵守事項	遵守状況
大気汚染	○フロン排出抑制法	・全ての管理第1種特定製品の点検（3ヶ月に1回以上）	遵守
廃棄物・リサイクル	○廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理業者は知事（市長）の許可が必要（収集・運搬・処分業） ・保管基準に従い保管 ・水銀使用製品の運搬、保管の際は他と混合しないよう仕切る ・水銀使用製品の処理委託にあたっては委託基準を遵守する ・マニフェストの交付 ・管理交付状況の報告 ・委託する場合は許可を受けた者に委託 ・委託の基準に従う ・委託した産業廃棄物処理状況の確認。適正処理に必要な措置に努める。 ・収集運搬車の表示、書面備え付け等 	遵守
	○資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	<ul style="list-style-type: none"> ・特定再利用業種 ・指定副産物 	遵守
	○家電リサイクル法	・排出事業者の債務（引渡し、料金支払い）	遵守
	○建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業者を営む者の責務 ・分別解体等の特定建設資材廃棄物の再資源化 ・発注者に書面で報告、記録（元請業者） 	遵守
	○自動車リサイクル法	・自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	遵守
エネルギー	○省エネ法	・エネルギー使用の合理化に努める	遵守
化学物質・危険物	○毒物及び劇物取締法	<ul style="list-style-type: none"> ・盗難等の防止をする（在庫量の把握・記録要） ・飛散、漏れ、流出等地下浸透防止 ・容器、貯蔵場所 ・事故時は応急措置及び保健所、警察署又は消防署に届出、紛失時は警察署に届出 	遵守
	○農薬取締法	・規定による表示のある農薬及び特定農薬以外の農薬は使用禁止	遵守
その他	○労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の実施 ・危険を生じる恐れのある物名称等表示 	遵守
	○消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵取扱届出書（指定数量1/5以上） ・貯蔵等の技術上の基準遵守 ・事故時の措置と報告 	遵守
	○道路運送車両法	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車を保安基準に適合するように維持する。日常点検、定期点検の実施と記録。 ・自動車検査証の交付がなければ、使用してはならない。 	遵守
	○道路交通法	・安全運転管理者の選任・届出（11人以上乗車1台以上、他の貨物輸送5台以上、乗用車20台以上）	遵守
	○グリーン購入法	・環境物品を購入するよう努める	遵守

2) 関係当局、及び地域からの苦情等

関係当局より違反の指摘や地域住民からの苦情等もありませんでした。

11 代表者による全体評価と見直し

【 総 評 】

コロナ感染症渦の中の活動で、対外行事が中止となり思うような活動が出来なかった
と思います。活動大変ご苦労様でした。

記

項目	評価	改善及び指示
環境方針	環境方針に従って活動されています。 ご苦労様でした。	なし
環境目標	本年度は受注形態の変化はなかった が、工事内容に変化があり、分析も大 変だったと思いますが、よく取り纏めさ れています。	なし
環境活動計画及び 環境経営システム	環境方針に沿っての計画及びシステム により活動しており、成果が出ている ように見えます。	なし